

〈あなたを救いたい〉

ジャーナリスト
松本侑壬子

自殺をほのめかす若い女性のリスナーの電話を受けたFMラジオのDJが、何とかして思い止まらせない！と奮い立つ。姿の見えない相手をいかにして説得し、救うことができるか。身近なラジオの力に助けられた、若いがん患者の愛の行方をサスペンスフルに描く。これはまた、若い女性への熱いメッセージを込めた作品ともいえる。

横浜の高台にある新居に引っ越してきた、たまき(安田美沙子)と高志(山口賢貴)のカップル。結婚を前に、将来子供が生まれたら、と夢を語り合う。ちょうどラジオからは、人気DJ杉田マユミ(室井滋)の軽妙な語りでたまきの好きな曲が流れてくる。

ある日、たまきは下腹部に強烈な痛みを覚え、婦人科の診察を受ける。診断は子宮頸がん、一刻も早く、しかも「子宮と卵巣をすべて取り除く」手術を勧められる。結婚式を控えてたまきはしるる

が、高志はすぐに手術を承諾。「結婚は止めようか」と泣きじゃくるたまきを「どんなことがあっても、君を守る」と抱きしめる。

思いもよらない宣告だったが、子宮頸がんは女性特有のがんで、乳がんに次いで発症率が高く、年間全国で約三、五〇〇人が亡くなっている。性交渉によつて感染するウイルスが原因で、その経験があれば、誰にでも発症する可能性がある。特に最近では二〇代、三〇代の女性の間で増加していることを知る。

それから二年。マユミの担当する二五年も続いた長寿番組が最終回を迎えた日。生放送中に突然、冒頭に自殺予告らしい電話が入る。切るようにとの番組プロデューサーの合図を無視して、マユミはラジオネーム「インガ」を名乗るそのリスナーから、彼女が子宮頸がんにかかり、体調不良から仕事も辞めて孤独の中で生きる意欲を失っていることを聞き

出す。何とかして彼女を救いたい、と必死のマユミ。すると同じ病を患ったというリスナーから続々と電話が入り、率直な体験談や励ましの言葉で次々に語りかけ始める。

睡眠薬でも飲んだのか、一度消え入るように「インガ」の声が途切れたが、再び電話がつながり、「最後に大好きな人と聞いた曲をかけて」とリクエスト。その曲が流れ始める。

ラジオを車の中で涙を流して聞いているのは高志だ。実は、手術後ほとんど寝たままのたまきに代わって家事一切を懸命に続けたが、見舞い客らの「遊んだ人がかかる恥ずかしい病気」との心無い陰口を聞いて以来、気持ちが悪えてしまった。実家に帰ったままのたまきを迎えに行く気にもならない。心にはばかり空洞を抱えて、仕事に逃げている高志だった。そんなときに偶然聞いたカーラジオオ。「インガ」とはたまきの愛猫の名。あの曲は、幸せだったあの時に一緒に聞いた曲だ。

「僕はインガの夫です！」高志は電話で必死に呼びかけるが…。

子宮頸がんは初期症状が現れにくい。特に若い世代に「早期発見のためにぜひ検診を！」とこの映画の医療監修・宮城悦子医師も訴えている。

『いのちのコール ～ミセス インガを知っていますか～』

日本映画 (86分)

監督：蛭原やすゆき

出演：安田美沙子、室井滋、山口賢貴ほか

5月下旬公開予定

©「ミセス インガを知っていますか」製作委員会

